

岡谷市民病院 地域医療 連携だより

平成30年
8月
夏号



岡谷市民病院

岡谷市民病院は「思いやり」を基本理念とし、心温まる患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院をめざします。

4月より総合診療科に池田修一先生が着任しました。より一層地域連携を推し進めていく所存です。



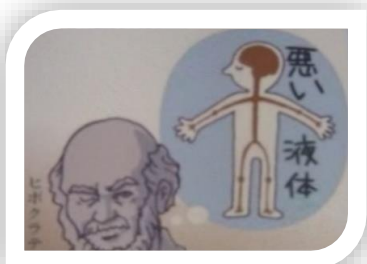
リウマチ・膠原病診療の最近の進歩

総合診療科 池田修一

関節リウマチは手足の多発関節を襲う難治性炎症疾患であり、その原因として自己免疫の関与が考えられている膠原病の代表的疾患です。リウマチの語源の「リウマ」はギリシャ語で「流れる」ことを意味します。紀元前400年頃にギリシャの偉大な学者ヒポクラテスが「脳から悪い液体が出て、体内の

関節・筋肉へ次々と病気が流れ移っていく」(図1)として紹介したのが本疾患の始まりのようです。

関節リウマチは進行期には関節を破壊して、手足が大きく変形し(図2)、さらに肺や心臓などの内臓器官も障害を受ける全身病です。



(図 1)



(図 2)

関節リウマチの従来の治療法はアスピリンを大量に服用するなどの消炎鎮痛剤投与や金製剤を注射するなどの非特異的治療が主体でした。しかし過去10年間で関節リウマチの治療法は飛躍的に進歩しました。原因となる免疫の異常活性化を抑える免疫抑制剤の投与、炎症の引き金となるサイトカインの作用を阻止する生物学的製剤の注射等により、リウマチの慢性炎症をコントロールすることが出来るようになりました。こうした新規治療を受けることにより、患者さんの日常生活動作は著しく改善します。疑わしい患者さんがおりましたら、当方へ御紹介くださりますよう、宜しくお願いします。

新任医師紹介



神経内科医師
田中 莉佳

8月から着任しました

信州大医学部卒業、伊那中央病院、信州大学医学部付属病院を経て着任。

きれいな病院で働けて嬉しいです。
精一杯、頑張ります。



医療福祉相談室の新しい仲間 です♪



MSW
山田 愛

臨時事務員
中尾 香織

精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

予告

岡谷市民病院
病院祭



日時：平成30年10月13日(土)
たくさんのご来場お待ちしております♪



地域のニーズにお応えして

よいあい講座・市民公開講座



糖尿病について

糖尿病センター 平松 邦英医師



60歳以上の方の学習グループ「いちい学級」での講義でした。
皆さん熱心にメモを取りながら聞いておられ、クイズ形式でのお話に、今までとはちがった糖尿病の知識を深めることができました。
(6月1日長地公民館)

救急対応・ 処置について

外科 澤野 紳二医師



社会福祉協議会で援助員の方への講義でした。目の前で急に人が倒れたり、ケガをした時など対応はなかなか難しいことです。見直しをすることは、少しでも落ち着き行動するために大事なことです。 (6月1日諏訪湖ハイツ)



世界が認めた名医が語る「肝切除と肝移植」

医療法人社団大坪会 東和病院院長

日本赤十字社医療センター名誉院長/ 東京大学名誉教授 **幕内 雅敏 先生**



信州大学時代に国内3例目の生体肝移植を行い、成人生体肝移植に世界で初めて成功した肝臓外科のパイオニアである幕内先生が、500人の聴衆をまえに、決して最後まであきらめない外科治療を熱く・ていねいにお話くださいました。(4月14日カノラホール)

岡谷市民病院 地域医療連携室

〒394-8512 長野県岡谷市本町4-11-33

TEL : 0266-23-8000 (代表)

0266-23-8003 (直通)

紹介患者予約専用窓口

電話 0266-23-0489(お一よやく) 月~金 8:30~17:00

FAX 0266-23-8011

岡谷市民病院 紹介

検索

